協会だより

No.161
平成25年2月発行

10周年記念

20周年記念

協会設立50周年記念式典

30周年記念

40周年記念

【平成24年度　全国統一防火標語】

消すまでは　出ない行かない　離れない

編集・発行／秩父防火安全協会（秩父消防本部内）TEL.0494（21）0121

年頭挨拶

平成25年の新年にあたり

秩父防火安全協会　会長　**小　池　文　喜**

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は協会創立50周年の節目の年にあたり、10月に行われました「協会設立50周年記念式典」では、関係者ほか会員各位のご協力によりまして盛大に挙行でき、大役を果たすことができました。改めて厚くお礼を申し上げます。

さて、今年は巳年、蛇は脱皮するから云々と言われていますが、自分の殻を打ち破るということは思いのほか難しいものです。

頭の転換に私がおすすめしたいのは武田邦彦先生のブログです。「ダイオキシンは人にはほとんど毒ではない」、「CO_2脅威論は欧米の隠謀」、「森林はCO_2を吸収しない」、「新聞テレビはデータで嘘をつく」、「血圧は高い方が良い」、「コレステロールを増やして体と心の健康を」など一瞬びっくりするようなことがまじめに書かれています。その他歴史・教育・倫理・お金・男と女・自然と伝統・原子力など広範囲なテーマで毎日数本追加されています。

御本人は、資源材料学と原子力などの専門家でテレビなどにでることもありますのでご存じの方も多いと思いますが、科学者として誠実な立派な先生です。

先生の言うとおりに私たち一人一人が既成概念にとらわれず、マスコミに踊らされず、真理と誠実を重んじるようになれればいいと思います。

アルジェリアの人質事件では多数の犠牲者が出てしまいましたが、諸外国とくらべれば我が国「日本」はつくづく安全ないい国だと思います。

今年も秩父広域の安全を担ってくださる消防職員皆様のご安全と防火安全協会会員各事業所様のご無事を心よりお祈り致しまして、簡単でございますがご挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて

秩父消防本部　消防長　**浅　見　真　一**

新年おめでとうございます。

2013年、今年の三が日は穏やかな素晴らしい天候に恵まれ、会員の皆様にはご健勝にて新しい年を迎えられたことと思います。また、新年早々大雪に見舞われましたが、秩父連山がスッポリと雪景色に被われ、久しぶりに秩父の風情を楽しまさせていただきました。

さて、昭和23年消防組織法が施行され、消防は警察組織から分離、消防の責任はすべて市町村とする、現在の自治体消防制度が発足し今年で65年を迎えようとしております。私ども秩父消防も、昭和27年秩父市消防本部として発足、その後、秩父広域市町村圏組合の秩父消防本部として現在に至っておりますが、消防に期待される内容も多岐に渡っており、今後も消防需要は増加するものと考え、改めて身の引き締まる思いで過ごす昨今でございます。

このような歴史の中、貴防火安全協会は、私どもとともに歩み、昨年10月には創立50周年を迎えたことは、この上のない喜びであり、今までの先輩諸氏のご労苦に対し、心から敬意と感謝を申し上げるところでございます。

また、記念事業の一環として、秩父消防本部に普通運搬車両をご寄贈いただきました。重ねてお

礼を申し上げますとともに、末永く大切に使用させていただくことをお約束させていただきます。

私は常々、火災予防の基本は、昔から伝わっている「火の用心」の精神であり、自分の職場から、そして我が家から火を出さないという事があらゆる人々にできる重要な防火管理であると考えております。

現在は、災害の大規模化、さらには地震の発生危険など自然災害の脅威が叫ばれておりますが、日々の生活の中にも危機意識をもちながら、自分の生活や仕事に精進され、会員皆様方がご健勝で益々ご活躍されますことを、ご期待申し上げます。

なお、私事ではございますが、今年度末をもって退職となるにあたり一言お礼を申し上げます。

顧みますと、私が消防長に就任した平成21年4月、一人の友人が訪れ、ある冊子のコピーを置いていきました。その内容は消防長職になった以上は、この位のことは守って毎日をおくれという、激励のメッセージでした。その要旨は、まず、どっしり構えること。次に嫌いな部下を活用すること。そして時代の変化に適応すること。さらには先例にとらわれないこと。最後に機に応ずること。・・・という内容でございました。

今振り返りますと、何もできなかったというのが、偽らざる心境でございます。コピーを置いていった友人が、苦笑している事を思いながら、筆を置きます。

お世話になりました。心から秩父防火安全協会のご発展をご祈念申し上げます。

平成25年春の火災予防運動実施

平成25年3月1日（金）～3月7日（木）

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として毎年この時期に実施しているものです。

重点目標

1　住宅防火対策の推進
2　放火火災・連続放火火災防止対策の推進
3　特定防火対象物における防火安全対策の推進
4　製品火災の発生防止に向けた取組の推進
5　林野火災予防対策の推進

春の火災予防駅伝開催

平成25年3月2日（土）

春の火災予防運動の一環として秩父消防本部（署）では、職員がたすきをかけ、本部（署）庁舎前を午前9時に出発、影森、荒川大滝、小鹿野両神、吉田、北、東の各消防分署へと総延長約68.3kmを8人で走る火災予防駅伝を行います。

最終ゴール場所の秩父消防本部（署）への到着時間は午後4時頃の予定です。大勢の方の応援をお願いいたします。

「たすきでつなぐ　秩父路　春の火災予防運動」

秩父防火安全協会設立50周年記念式典

本会設立50周年記念式典が、平成24年10月23日（火）午後3時から「ナチュラルファームシティ農園ホテル」において、国会議員、県議会議員、市町村長ほか、一般会員を含む約140名が参列して盛大に行われました。

式典は、農園ホテル2階「ケヤキの間」において、冨田副会長の開式の辞で始まり、小池会長の式辞を傾聴したのち、本協会から協会設立50周年記念事業の一環として資機材運搬車（日産バネット2ｔトラック）が秩父消防本部に寄贈されました。

続いて、協会設立50周年記念に伴う特別表彰（永年会員表彰）が行われ、在会40年以上の会員46事業所（在会40年以上で既に表彰歴のあるものを除く）を代表してアルバック成膜㈱山川洋幸様に賞状と記念品が贈られました。

次に会長経験者として宮前洋一様、雨宮鹿之助様2名に感謝状と記念品が贈られ、その後、受賞者を代表して宮前洋一様が謝辞を述べられました。

次いで秩父広域市町村圏組合管理者である秩父市長が、当協会の重要性や将来に向けた方向付けを述べられるなど、来賓の方々から当協会及

び受賞者に対して暖かい激励とその功績をたたえる祝辞が寄せられました。

最後に祝電を披露し、宮前副会長の閉式の辞で式典の幕を閉じました。

その後、会場を1階の「花梨の間」に移し、祝賀会が開催され、出席されたそれぞれの方々が、50年にわたる思い出を追いながら喜びを分かち合いました。

最後に、アトラクションとして「纏若連」(消防職員) による秩父音頭、秩父屋台ばやしが披露され、祝賀会の雰囲気を盛り上げ、盛大のうちに全日程を終了し、散会となりました。

50年のあゆみ

昭和37年 4月 8日	第1回防火安全協会設立準備会議
昭和37年 7月10日	秩父防火安全協会設立総会
昭和37年11月15日	協会機関誌「協会だより」創刊号発刊
昭和47年10月18日	秩父防火協会設立10周年記念式典挙行
昭和49年 4月 7日	秩父消防本部へ査察指導車兼指令車を寄贈
昭和51年 8月10日	16ミリ映写機を購入 (各種団体の防火講習会等に協力)
昭和54年 6月26日	秩父消防本部へ消防用連絡車及び複写機を寄贈
昭和57年11月18日	秩父防火安全協会設立20周年記念式典挙行
昭和61年度～	秩父地区少年婦人防火委員会に協力
平成元年度～	オイルフェンスの整備事業開始 (平成16年度まで)
平成 2年 2月20日	協会機関誌「協会だより」100号発刊
平成 4年10月19日	秩父防火安全協会設立30周年記念式典挙行
	連絡車(ブルーバード)を秩父消防本部へ寄贈
平成 8年 8月 2日	液晶プロジェクター及びスクリーンを寄贈
平成13年 4月 1日	消防本部庁舎下宮地町移転
	連絡車(ブルーバード)を秩父消防本部へ寄贈
平成14年10月21日	秩父防火安全協会設立40周年記念式典挙行
平成16年 7月21日	東芝製ノートパソコン1台購入
平成18年 6月～	住宅用火災警報器設置義務化に伴い機関誌によるＰＲ開始
平成20年11月	協会機関誌「協会だより」150号発刊
平成21年 7月30日	訓練用水消火器5本を秩父消防本部へ寄贈
平成22年 6月17日	一眼レフデジタルカメラー式購入
平成23年 3月11日	14時46分　東日本大震災発生
平成23年11月24日	東日本大震災被災地視察研修
	地元被災地協会(釜石地区防災安全協会)へ義援金を贈る
平成24年10月23日	秩父防火安全協会設立50周年記念式典挙行

秩父防火安全協会 設立50周年記念特別表彰者名簿

順不同　敬称略

No.	事業所名	代表者名
	秩父市	
1	アルバック成膜㈱	山川洋幸
2	㈱井上組	井上喜郎
3	㈱カネミツ設備	新井洋志
4	キャタピラー教習所㈱	遠山敏裕
5	西武秩父仲見世事業所	六名克江
6	(宗)先天大道一貫道日本總天壇	岩井通哉
7	㈱ダスキン サーヴ北関東 ダスキンちちぶ	宗政勉
8	秩通商事㈱	金子展明
9	㈱秩父塗料商会	小澤剛
10	㈱司塗装工業	中忠司
11	土谷プロパン	土谷眞一
12	東都秩父カントリー倶楽部	野本仁一
13	㈲巴川荘	中島むめ
14	㈱ナチュラルファームシティ- 農園ホテル	太田雅孝
15	民宿　はまだ	深田文子
16	㈲福島工作所	三島木悦子
17	秩父ふたば幼稚園	根岸亮太
18	見晴亭	堀口福治
19	本強矢整形外科病院	本強矢陽子
20	(医)博信会 本町整形外科医院	松田信久
21	㈱和銅鉱泉旅館	町田啓介
22	千鹿谷鉱泉旅館	坂本みつの
23	ユニオンエースゴルフクラブ	金明鎰
	皆野町	
24	関東粉化工業㈲	小林勝
25	協同貨物自動車㈱秩父営業所	浅見禄郎

No.	事業所名	代表者名
26	桜井石油	桜井武司
27	㈱アコーディアAH11	植松晃弘
28	ニュー秩父交通㈱	新井保夫
29	㈱竜谷閣	内田和一
	長瀞町	
30	エナーゼ産業㈱	出浦博美
31	かやの木幼稚園	小内智広
32	旅荘　草　笛	平龍也
33	㈱コスマック	小菅孝
34	シンテック㈱	高橋儀平
35	(社福)わかたけ会 たけのこ保育園	渡辺強
36	プティホテル・セラヴィ	清水美枝
37	日本イスエード㈱	出牛洋行
	小鹿野町	
38	内田商店	内田晴己
39	㈲赤谷温泉　小鹿荘	黒沢光男
40	菊　屋	小指雄一
41	前野石油店	前野久男
42	松川プロパン	藤山正義
43	㈱山崎工務店	山崎寿
44	リョータイト輸送㈱	西村昭広
45	㈱岩田組	岩田勇二
46	㈱秩父富士両神工場	佐藤長治

感謝状

1	秩父防火安全協会元会長	宮前洋一
2	秩父防火安全協会前会長	雨宮鹿之助

平成24年　火災・救急・救助の実態

火災

平成24年　市町別火災統計

昨年と比較し、火災件数が1件減少、損害額は28,886,000円の増加となっています。

市町村別	火災件数								り災棟数			死傷者		焼損面積等			損害額（千円）				り災世帯			り災者数
	建物				林野	車両	その他	合計	全損	半損	小損	死者	傷者	建物・㎡	林野・a	車両・台	建物	収容物	その他	合計	全損	半損	小損	
	全焼	半焼	部分焼	ぼや爆破含																				
秩父市	2	3	4	5	3	3	16	36	5	4	13	1	4	737	94	5	24,881	3,372	2,864	31,117	1	3	7	26
横瀬町		1	1					2		1	3		2	34			357	502		859			2	9
皆野町		1					6	7		1				10			170	128	104	402				
長瀞町	1		1		1	1		4	6		2		1	45	4	1	897	27	606	1,530				
小鹿野町	2		1		3	1	1	8	4		2		1	389	159	2	33,911	11,378	1,486	46,775	3		3	16
合　計	5	5	7	5	7	5	23	57	15	6	20	1	8	1,215	257	8	60,216	15,407	5,060	80,683	4	3	12	51

救急

救急出場件数は、前年に比べ118件減少しています。主な増減としては、急病が101件減少し、転院搬送が59件増加しています。

平成24年　市町別救急出場件数

区分／市町別	出場件数	不搬送件数	搬送人員	事故種別												
				火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
														転院搬送	医師搬送	資機材等	その他
秩父市	2,977	195	2,822	3	1		277	18	7	373	22	55	1,694	500	2	1	24
横瀬町	319	36	291	1			51	2		50		5	197	7			6
皆野町	510	38	480			1	41	4		65	1	7	265	118			8
長瀞町	298	14	297	1		3	42	4	2	39	1	5	194	5			2
小鹿野町	488	38	456	2			34	12	3	88	1	4	289	51	1		3
その他	1		1				1										
合　計	4,593	321	4,347	7	1	4	446	40	12	615	25	76	2,639	681	3	1	43

救助

救助発生件数は、前年に比べ45件減少しています。

平成24年　市町別救助発生件数

区分／市町別	発生件数	事故種別								
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
秩父市	47	2	11			3	2			29
横瀬町	7		3							4
皆野町	6		2	2						2
長瀞町	6		1	2		1				2
小鹿野町	14	2	1			1				10
合　計	80	4	18	4		5	2			47

◆お知らせ

★危険物取扱者試験・消防設備士試験

平成25年度埼玉県内における危険物取扱者試験及び消防設備士試験の日程等については、2月10日時点で未定となっております。3月中には日程が決定すると思われます。詳しくは(財)消防試験研究センター埼玉県支部ホームページをご覧下さい。

(財)消防試験研究センター埼玉県支部　TEL 048-832-0747

★甲種防火管理新規講習

平成25年度も甲種防火管理新規講習を秩父消防本部において、6月中旬(2日間)に開催する予定です。

案内通知は5月に配布予定です。詳細にあっては秩父消防本部ホームページに4月以降掲載します。お問い合わせは秩父消防本部予防課までお願いします。

秩父消防本部予防課　TEL 0494-21-0121

新救急車の配備

秩父消防本部(署)では秩父消防本部車両配備計画に基づき救急車を2台購入しました。

この救急車は、小鹿野分署と影森分署へ配備されました。

感謝状を受領

平成24年10月23日(火)農園ホテルで行われた、本協会設立50周年記念式典の記念事業として荷物運搬用車両(日産バネット2ｔトラック)を秩父消防本部へ寄贈を行った業績に対して、秩父広域市町村圏組合管理者及び秩父消防本部消防長から感謝状が授与されました。

感謝状

秩父防火安全協会
会長　小池文喜　様

あなたは防火安全協会会長として消防行政に深いご理解を示され貴協会設立五十周年記念事業の一環として一般積載車をご寄贈いただきましたここにそのご高配に感謝の意を表します

平成二十五年一月七日

秩父広域市町村圏組合管理者　久喜邦康
秩父消防本部消防長　浅見真一

会員募集

秩父防火安全協会事務局
☎ (0494) 21-0121

当協会では随時会員を募集しております。お知り合いの事業所、まだ入会されていない事業所がありましたらご紹介ください。

今後とも安心・安全な町づくりに寄与していきますのでご理解、ご協力をお願いいたします。

印刷／有限会社 拡文社印刷